

ロンドン、2016年4月19日

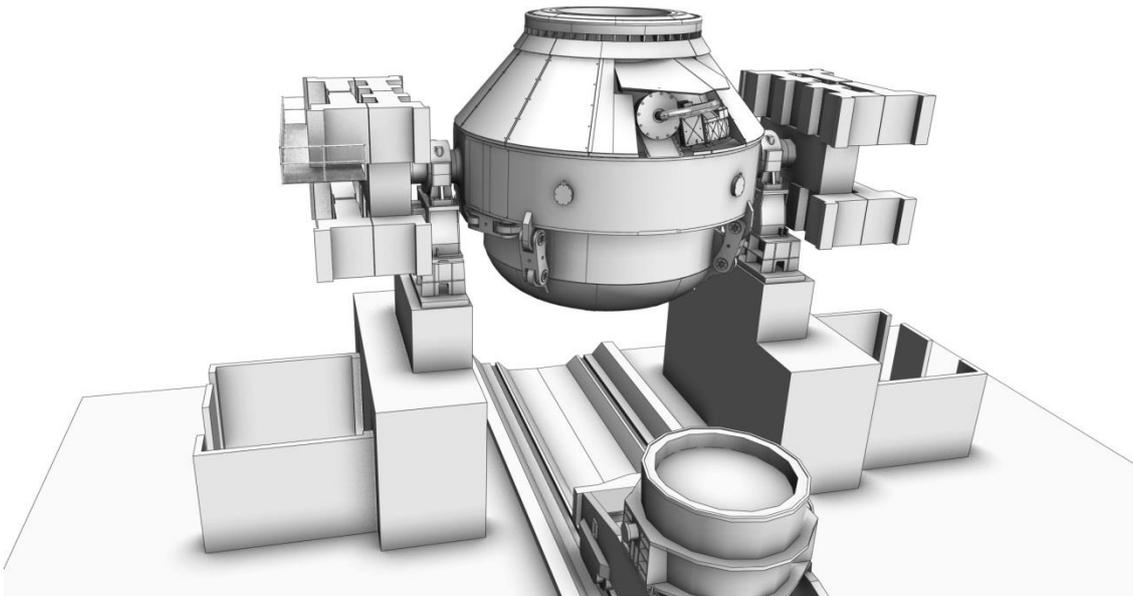
Primetals Technologies、ArcelorMittal Poland（アルセロールミタル・ポーランド）よりドンブロヴァグルニチャ製鉄所向け LD 転炉 2 基の更新工事を受注

- **メンテナンスフリーの Vaicon Link 2.0 転炉サスペンション装置で長期の耐用年数を実現**

Primetals Technologies は、ArcelorMittal Poland S.A（アルセロールミタル・ポーランド）からドンブロヴァグルニチャ製鉄所の転炉 1 号機と 3 号機の更新工事を受注しました。新しい転炉の出鋼量は 325 トンで、ターンキー方式で施工されます。この転炉にはメンテナンスフリーのサスペンション装置 Vaicon Link 2.0^{*1} が装備され、熱変形による応力を最小限に抑えるとともに耐用年数も確保されます。運転開始の予定は、1 号機が 2016 年末、3 号機は契約上のオプション行使時期にもよるものの、その 6 ヶ月後の予定です。

ドンブロヴァグルニチャ製鉄所の転炉はすでに耐用年数に達しており、当社は新しい炉体とトラニオンリング、メンテナンスフリーの Vaicon Link 2.0 サスペンション装置を納入し、転炉の軸受とケーシングも更新予定。今回の契約に含まれる既存炉体の解体、新設備の仮組立と及び据付工事は、コンソーシアムパートナーのポーランド・ZKS Ferrum S.A（ZKS フェラム社）が担当します。

アルセロールミタル・ポーランドはポーランドを代表する製鉄メーカーで、シレジア地域およびマウオポルスカ県において 6 ヶ所の製鉄所を操業。建築、輸送および鉱業向けの形鋼、レール、付属金具、自動車や家電製品向けの薄板製品など、取扱い製品は多岐にわたります。なお、ドンブロヴァグルニチャ製鉄所は大型形鋼の生産に特化しています。



当社がアルセロールミタル・ポーランド向けに受注した LD (BOF) 転炉 CG 画像

※¹ Vaicon Link 2.0 サスペンションシステム :

トラニオンリングと炉体を固定している H 型のリンク。溶接の必要性がなく、組み立てが簡単で、トラニオンリングの裏側に装着されるため、耐用年数も延長。特許を取得したリンクの配置が負荷を均一にすることで、熱による変形や膨張を防ぎ、完璧なサスペンションと柔軟性を両立。また最小のスペースでの転炉の回転動作が可能で、耐用期間はメンテナンスフリー。

原文プレスリリース及び資料は、以下の URL よりご覧になれます。

www.primetals.com/press/

報道関係お問い合わせ先:

Primetals Technologies Japan 株式会社 総務部

〒108-0014 東京都港区芝五丁目 34 番 6 号 新田町ビル 9 階

TEL(03) 5765-5231

Primetals Technologies 公式ツイッター: twitter.com/primetals

Primetals Technologies, Limited は本社を英国、ロンドンに置き、金属鉄鋼産業にとって、エンジニアリングやプラント建設全般の、世界的リーダーかつライフサイクル・パートナーです。当社は電機、オートメーション及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供します。鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野部門にも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は三菱重工グループで、株式会社日立製作所、並びに株式会社 IHI が資本参加している三菱日立製鉄機械と、シーメンス・グループのシーメンス VAI メ

Primetals Technologies, Limited
A joint venture of Siemens, Mitsubishi Heavy Industries and Partners
Communications
Head: Heiko Huensch

Chiswick Park, Building 11, 566 Chiswick High Road
W4 5YS London
United Kingdom

タルズテクノロジー社の統合により発足しました。出資比率は三菱日立製鉄機械が 51%、シーメンスが 49%です。発足時の従業員数は全世界で約 9,000 人。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト : www.primetals.com